下都賀地区生涯学習研究会機関紙
ねっとわーく
Network
第 55 号
令和2年10月発行

写真提供：太平少年自然の家
関連記事「自然の家リーダー」は裏面です。

Smile お届け特別号

新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、各学校、行政及び関連団体等では、例年どおりの活動が行えていないとの情報が入ってきております。なかなか人と人とがふれあえない時だからこそ、人と関わることのよさについて機関紙を通じて発信し、それらを見つめなおしていただくきっかけづくりになればと思い、ふれあい学習を展開する中で見ることができた心温まる場面を、写真と簡単な文章で紹介してまいります。

会長あいさつ

with コロナ

下都賀地区生涯学習研究会　会長
栃木市立栃木西中学校　校長　　小林　勇夫

残暑厳しい旧盆明けに、多くの学校では短い夏休みが終わり、２学期が始まりました。これから 12 月下旬までの長い期間、感染防止と日常の学校教育活動の両立をしながら、１学期から延期となった行事をも実施していくことになります。市町教育委員会でも、様々な行事やイベントの中止を余儀なくされました。本研究会も、総会を書面にて実施し、懇親会は中止としました。膝を突き合わせての協議や飲み会は、会員の資質向上とともに、参加した人々が互いに知り合ったり、親しみを深めたりする貴重な機会ですので、できれば実施したかったのですが･･･。とても残念に思っています。

さて、私の学校の多くの生徒は、臨時休校期間中に学校の価値を実感していたようでした。学校再開時の生徒達は、久しぶりに友達と会えて、とても嬉しそうにはしゃいでいました。学校とは、生徒にとって楽しい所であって、無くてはならない空間であり、人と人との交流や葛藤をとおして社会性を育みながら、健全な成長をするために必要な場所であると改めて感じました。

このような状況の中で、社会教育主事（有資格者）として何ができるのか？　その真価が問われています。「『何もできない』と弱音をはきたくない」とは思いませんか？

5G 時代が到来　社会教育が果たす使命は？

スマートフォンや携帯電話などの移動通信システムの最大通信速度は、この 30 年間で 100,000 倍と言われています。いつでも、どこでも、必要な情報を、他人（ひと）に尋ねる必要もなく、手軽に手に入れることができる時代（４G）となりました。今後、５Gが世の中に普及すると、このスピードは現在の４Gの 10 倍から 20 倍に上がるそうです。超高齢社会おける遠隔地の医療やリモートによる在宅ワークなどで大いにその力を発揮しそうです。

しかし、捉え方を変えれば、人と人が関わらなくても必要なことが済んでしまうということになります。「人は人によりて人となる」と言われます。どんなにテクノロジーが発達しても、人のぬくもりを感じながら成長できる機会を、どのように提供していけるのか、私たち社会教育主事有資格者は考えていくことが大切なのではないでしょうか。左に紹介しました総務省の動画には、５G時代において、人は人とどう関わるべきかを考えることができる内容も盛り込まれています。YouTube を見る機会がありましたら、ご覧になってください。これからの移動通信システムと人との関わりについて、子どもたちに考えてもらえる内容かと思います。

Connect future ～5G でつながる世界～（3 分 ver）
https://www.youtube.com/watch?v=ArRWXopUHAQ

Snap Shot　～笑顔があふれたその瞬間～

Smile①「自然の家のリーダー」

下都賀地区生涯学習研究会　広報委員長
栃木県立太平少年自然の家　社会教育主事　　櫻井　竜彦

「自然の家のリーダー」と聞いて、皆さんは誰を思い浮かべますか？
本所においては、ボランティアの中学生や高校生、大学生、社会人の方々を「リーダー」と呼んでおり、キャンプや登山など様々な場面で子どもたちの支援をしてもらっています。

リーダーの存在はとても大きく、イベントに参加する子どもたちはリーダーとのふれあいをとても楽しみにしています。解散時には涙を流して別れを惜しむ子どももいます。憧れを抱き、数年後には自らがリーダーという立場で自然の家に戻ってくるケースも珍しくありません。このような異年齢のふれあいの場、成長の場が自然の家にはあるのです。
笑顔いっぱいの写真は、過去のイベントの一場面です。今年度の写真はまだ撮ることができていませんが、参加者全員が安心してふれあえる、そして成長しあえるイベントが開催できる日を、職員一同心待ちにしています。

Smile②「コロナ禍でも笑顔につながる学校支援活動を～地域の方々の熱い思い～」

下都賀地区生涯学習研究会　広報委員
栃木市生涯学習課　課長補佐兼社会教育主事
柏崎　友洋

栃木市では、８月に各地区の地域コーディネーター研修会を開催しました。とちぎ市民協働研究会代表理事の廣瀬先生による講話を録画したＤＶＤを視聴し、その後、情報交換を行いました。廣瀬先生のお話は、地域コーディネーターとして必要となる考え方や、学校支援活動に関わる人々の気持ちについて分かりやすくお話しいただくなど、今後の活動の参考となるものばかりでした。
参加者からは「子どもや学校の役に立ちたいというボランティアの気持ちは誰でも同じであることを再確認できた。」「コロナ禍の中でもできることを、学校と相談しながら取り組みたい。」など、前向きな意見が多く挙げられました。今後、それぞれの学校において、学校支援活動の見直しを行っていくことで、コロナ禍の中でも、コロナ禍だからこその活動を計画し、子どもたちの笑顔につながる活動をしていきたいと考えています。

お知らせ

今年度、茨城大学にて行われる予定でした社会教育主事講習は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。そのため、講習修了者からメッセージをいただく「ニューフェイス」のコーナーはお休みとなります。

ご案内です

生涯学習研究会第１回研修会

「下都賀地区ふれあい学習研修会」
「下都賀地区（新任）地域連携教員研修」
～社会教育主事有資格者ステップアップ研修Ⅰ～

◆日　時	令和２年１１月２０日（金） １４:００～１６:００
◆会　場	國學院大學栃木学園 教育センター（栃木市）
◆対　象	社会教育主事有資格者 新任地域連携教員 ※新型コロナウイルス感染予防対策のため、参加対象を制限させていただいております。
◆申込み	所属長あての別送付開催案内により、お申し込みください。
◆その他	今年度は、懇親会は開催しません。

問合せ
✿発　行　下都賀地区生涯学習研究会
✿事務局　下都賀教育事務所ふれあい学習課内
TEL　0282-23-3422　/　FAX　0282-23-3502
E-mail　shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

ホームページでもご覧になれます。　ふれあい学習課　情報誌・機関紙　で検索してください。